

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成25年1月10日(木) (19:00~20:15)		
実施場所	南鑑坂集会所	参加人数	19人
参加対象	南鑑坂集落		
市側の出席者	市長 建設課主任、主事		
懇談内容	<p>1. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校や保育園の統廃合が進み地域の拠点が無くなってきている。大地の芸術祭で人を呼び込むのも良いかもしれないが、今いる人が減らないような取組みをしてもらえないか。 <p>A. 市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本では人口が減っており、この地域より都会のほうが住みやすいという流れはある。大地の芸術祭や地域おこし協力隊などの取組みにより、十日町市で生活したいという人も増えてきている。 <p>2. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪の問題により山間地ほど高齢化が進んでいる。克雪に対して具体的なものはあるのか。 <p>A. 市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪に対する不満、恐怖、怒りの感情は、このふれあいトークをこれまで160回やっている中でも多く聞かせてもらっている。除雪費については来年から市が負担することにしてはいる。毎年1億円ぐらいの出費であるが財源の目途もついた。また、今年度115集落へ除雪機等を配置することが出来たし、克雪住宅への支援も行っている。消雪対策としては、市では今まで厳しい井戸規制を行ってきたが、あまりガチガチでは駄目であることから、内容を見直した。優しいまち、安全なまちにしないといけないと思い、少しずつ進めている。 <p>3. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR 東日本からの基金の利用方法をおしえてほしい。JR の水路トンネルが北鑑坂、南鑑坂だけで6本あり、それによって被害を受けている。この基金でこの地区の道路整備に使ってもらえないか。 <p>A. 市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金のうち、半分くらいを国債で運用し、運用益を得ながら減らさないようにしている。基金を使う、使わないとは別に、事業に取り組むかどうかの判断がある。例えば、小水力発電などには、議会の理解のもと使 		

えるのではないかと思っている。

4. 発言者

- ・火葬場建築計画に伴い、上ノ山の市道の整備を5年で行うとのことだったが、いまだに完了していない。整備のペースも遅いので早く進めてほしい。

A. 関口市長

- ・上ノ山への市道については進んでいると認識している。今回の国からの交付金も期待できる。

5. 発言者

- ・平成6年12月に地域からダム建設の要望をしており、その時は晒川ダムの建設が終わってから検討したいという回答であった。晒川ダムの計画が無くなったので、この地域にダム建設は出来るのかどうか。

A. 市長

- ・社会的な変化もあり、晒川ダムは続けていたら30年かかるのを見直し、治水面ではダムによらず取組むこととした。一つダムをやめたから次のダムというわけには社会情勢上いかない。もう少し検討しなければならないが、長年の課題は解決されてきていると思う。

6. 発言者

- ・小水力発電の話があったが、地域にとっても明るいニュースである。水の確保は大事なことなので、ぜひ検討・推進してほしい。

A. 市長

承知した。